

# 平成28年度 胎内市図画工作部 活動報告

部長 本間 陽子（胎内小）

## 1 研究主題

「生き生きと創造活動をする子どもの育成を目指して」

## 2 研究の概要

- (1) 第1回部会「活動計画の立案」 会場 胎内小学校 16:00～ 参加者6人  
(2) 第2回部会「大平實展オープニングセレモニー&トークショー参加・鑑賞」  
会場 胎内市美術館 9:30～ 参加者7人  
(3) 第3回部会「授業研究・実技講習」 会場 中条小学校 14:00～ 参加者6人

## 3 研究の実際

- (1) 「大平實展オープニングセレモニー&トークショー参加・鑑賞」について胎内市出身の美術家大平實氏の個展開催にあたり、オープニングセレモニーと、引き続き行われたトークショーに出席し、その後作品を鑑賞した。また、美術館に常設展示されている「山本順コレクション」についても、美術ボランティアの方から解説をいただきながら鑑賞した。
- (2) 「授業研究・実技講習」について

### ① 授業研究

- ア 授業者 奥村美保子 教諭（中条小学校）  
イ 題材名 「クルクル まわして」  
ウ ねらい 身近な材料で、風を当てると回る仕組みを作り、飾りや模様を加えて楽しく遊ぶ。  
エ 授業についての意見交流



- ・丁寧な教材研究と準備により、短時間でもスムーズにねらいを達成できていた。
- ・教材提示を工夫し児童を引きつけ、児童の「作ってみたい」という気持ちを高めていた。また、「風が当たると回る」という意識もしっかりともつことができた。
- ・児童は、回ること、回ったときの模様についてなど、自分なりの工夫を生かしながら意欲的に取り組んでいた。

### ② 実技講習「一版多色刷り」

4年生担任のメンバーが多いということで、木版画の基礎である線彫りを生かした一版多色刷りを実際につくり、そのコツを共有し合った。

## 4 成果と課題

- (1) 胎内市美術館鑑賞では、トークショーや企画展鑑賞を通して、「造形活動」の楽しさや鑑賞のポイントについて考えることができた。また、胎内市にゆかりのある人物や作品に触れることで、地域を生かした鑑賞活動やワークショップの可能性を考える機会となった。
- (2) 実技講習は、時間を確保するのが難しく短時間での講習となったが、日々の中で教材研究の時間がとれない面もあり、よい教材研究の機会となった。講師の方をお願いすることはなかったが、それぞれの経験をよい形で出し合いながら教材についての理解を深める機会となった。
- (3) 授業研究では、小学校低学年における図工の学習について考えるよい機会となったが、少ない部員の中で、毎年授業者を確保することはなかなか難しい面がある。